

音楽科授業案（略案）

日 時 平成24年12月19日（水）5校時
 生徒 2年C組 男子19名 女子19名 計38名
 授業場 音楽室
 授業者 齊藤貴文

1 題材名 「混声合唱の味わい」（表現領域）題材：『この地球のどこかで』作詞／三浦 恵 作曲／若松 敏

2 題材目標

歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かして表現を工夫し、歌うことができる

3 本時案

（1）本時の目標

モデル演奏を聴取し、よりよい表現を行うためのポイントを探る活動に積極的に取り組み、工夫して歌うことができる。

（2）本時の展開（3／4）（○…発問、△…補助発問、□…指示、説明）

主な学習活動（下位目標）	教師の働きかけ・手立て	【評価方法】・備考
<p>1. どんな工夫があるかについて考え発表することができる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・発音を意識する ・強弱を意識する</p> <p>2. 模範演奏と自分たちの演奏を聴いて、よりよい演奏表現について考え発表することができる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・伸ばしが力強い ・おなじ そら で分かれている ・「そ」はハッキリ発音する</p>	<p>○次の部分をよりよく歌うためにはどんな工夫が必要ですか。</p> <p>□自分たちの演奏と模範演奏を聴いて、よりよい演奏表現の仕方を確認してみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④るいていくみちは→ ⑤っとちがうけれど→</p> <p>⑥なじ／⑦ら⑧上げて／いるから→ ⑨の地球のどこかで→</p> </div>	<p>・クリップボード ・楽譜</p> <p>【発表】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>発音：○…赤 フレーズ：／…青 音の伸び：→…黒 強弱：オレンジ 専門的語彙を焦点化・可視化 手立て</p> </div> <p>音程やバランスにこだわらない</p>
<p>モデルを聴き、よりよい演奏表現をするためのポイントを探ろう 聴きとり批評する手立て</p>		
<p>3. モデル演奏を聴いてよりよい演奏するための表現の工夫を考え、楽譜に記入することができる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・「ほら」ほうらと歌う ・伸ばしている部分は消えるように ・ほら きのうまでの 分かれている ・「ほほ」はハッキリ</p>	<p>○次の部分をよりよく歌うためにはどんな工夫が必要だろう。</p> <p>□合唱の先生になって教えるつもりで模範演奏を聴き、ポイントを楽譜に記入しよう。 立場になりきる手立て</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑩ほら>／⑪きのうまでの>／⑫りつづいた／⑬めも上がり→</p> <p>⑭ほに／⑮明けの／⑯せを⑰けている→</p> </div> <p>△フレーズから聞いてみよう △発音で意識している部分はどこだろう △強弱はどうなっているだろう</p> <p>□よりよくするためのポイントを拡大譜に書き込みましょう。</p>	<p>・「ほら～」の自分たちの演奏→モデル ・WS 配布</p> <p>学習形態 ・個人【観察・楽譜】</p>
<p>①各リーダーはメンバーが聴きとった共通部分を確認する。 ②パートごとにリーダーが集まり Gr ごとの共通点を拡大譜に書き込む。</p>		
<p>4. Gr に分かれ、交流し、表現の工夫するポイントを確認することができる。</p>	<p>△確認したことを意識して合唱しよう。</p>	<p>学習形態 ・Gr →パート 3人の12Gr→3パート</p> <p>【観察・WS】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>発音：○…赤 フレーズ：／…青 音の伸び：→…黒 強弱：オレンジ 専門的語彙を焦点化・可視化 手立て</p> </div>
<p>5. 表現の工夫するポイントを意識して合唱することができる。</p>	<p>○演奏を聞いて改善したほうが良いところはどこだろう。 聴きとり批評する手立て</p> <p>△発音・フレーズ・音の伸び・強弱に注目してみよう。</p> <p>□最後にポイントを意識して合唱しよう。</p>	<p>学習形態 ・全体【観察・発表】</p>
<p>6. 録音したものを聴き修正ポイントを考えることができる。</p>	<p>○前回の演奏と今日の終わりの演奏を聴き比べながら WS に本時の感想と次時への課題を書こう。</p>	<p>学習形態 ・個人【観察】</p>
<p>7. ポイントを意識して合唱することができる。</p>		
<p>8. 前時と本時の録音を聴きながら、成果と課題を WS に記入することができる。</p>		

本題材における「知る」：音を取り、歌えること 「わかる」：ふさわしい音楽表現に気づき、歌えること

手立て

①専門的語彙の焦点化・記号化 ②立場になりきる

③よりよい表現をするために演奏を比較して聴きとり批評する場の設定